



JA 今金町女性部

乳製品料理講習会を開催



「今金米」札幌市でPR販売！



2月24日、今金町稲作部会の平原大輔さん、下田屋直樹さん、小池弦徒さんの3名とJA職員が札幌市のスーパーマーケット「ホクノー中央店」で「今金米なつぼし」のPR販売を行いました。

生産者が直接お客様に直面販売する毎年恒例のこの取り組みですが、炊きたての今金米を来店のお客様に試食頂き、「今金町のお米美味しいね」とたくさんのおり難いお声を頂戴しました。平成30年からは米政策が大きな転換期を迎えます。今まで以上に「お客様に選んでいただける産地」となれるよう、今後とも産地としてのPRを行って参りますので、生産者の皆様の更なるご理解・ご協力をお願いいたします。

Q 30年産以降の米生産ってどうなっていくの？

A 30年産からは国による主食用米の生産数量基準、「生産数量目標」の配分が廃止となります。このため、**米消費の需要と供給のバランスが崩れる**事が心配されることから、各都道府県・市町村行政、生産者団体、現場が一体となって需要に応じた生産に取り組む必要があります。

北海道では、30年産以降も需要に応じた米生産を行い、農家所得の向上と北海道米の安定供給に向けて、「**オール北海道**」で取り組むことを決定しました。

基本的な考えとして30年産以降は、**需要に応じた生産を行うため北海道独自に「生産の目安」を設定し、関係者で構成される北海道農業再生協議会を主体として取り組むこと**としています。



大好評♪ 女性部が農産加工品を販売



◀ すべての商品は心を込めた
手作りの自信作です

2月17日、JA今金町女性部の農産物加工販売グループ「夢工房手作りの味」がAコープいまかね店の店頭で、漬け物やべこ餅、コロッケ、ドーナツなどを販売しました。

来店頂いたお客様には大変ご好評頂き数時間で完売となりました。すべて手作りのため生産数に限りがありますが、また販売を行う際にはHP等でもお知らせいたしますので是非ご購入ください。

アグリミセスセミナー in 今金町



◀ 道南各地から、たくさんの女性部員の皆さんが参加されました

2月9日、今金町民センターにおいてJA道南地区女性協議会主催による研修会「アグリミセスセミナー」が行われました。（同協議会は道南4JAの女性部で構成）

セミナーでは専門の講師を招き「お茶の淹れ方教室」や「女性がいきいきと健康に暮らすための講演」等が行われ、道南各地から訪れた女性部員の皆さんは、楽しみながらセミナーに参加していました。

ソーシャルタウン今金町構想フォーラム



◀ パネルディスカッションの様子

2月16日、第2回「ソーシャルタウン今金町構想フォーラム」が今金町民センターにおいて開かれました。（主催：今金町商工会）

このフォーラムは、「人口減少」「障害者雇用」等をキーワードとして行われ、外崎秀人町長をはじめ関連団体・関係者が多数出席。基調報告やパネルディスカッションが行われ、この町の「在り方」について意見が交わされました。

乳製品料理講習会が行われました ～牛乳・乳製品の消費拡大に向けて～



◀ 参加した部員皆さんで美味しくいただきました

2月2日、JA今金町女性部が町民センターにて乳製品料理講習会を開催しました。この取組は、ホクレンが実施している「地域牛乳・乳製品需要拡大事業」を活用し、乳製品の需要の拡大と啓蒙普及を図ることを目的として、毎年行われています。

当日は皆さんで持ち寄ったレシピをもとに調理し、楽しく試食されていました。家族の健康のためにも、皆さんもぜひ乳製品を活用した料理を取り入れましょう。

ここだけは知っておきたい『農協改革』

～クミカン制度は維持されました～

平成 28 年 11 月 11 日に、政府の「規制改革推進会議_農業ワーキング・グループ（以下、WG）」から「農協改革」への意見が発表され、大きく報道されました。

「農協改革」を巡る一連の動きについて、組合員の皆さんに関係の深い「クミカン制度」を中心に整理しましたので、ご覧ください。



生徒

テレビや新聞で連日、「農協改革」の報道がされていたけど、2年前にも同じような議論を受けてJAは自己改革を実践中だよね。

民間団体のJAにここまで改革を押し付けて来る、規制改革推進会議の農業WGってどんな組織で、ねらいはどこにあるんだろう？

規制改革推進会議は総理大臣のアドバイザー的な機関で、議論した内容を総理大臣に意見する組織よ。農業WGは、「農業の成長産業化」を目的に農業関係の規制をテーマに話し合いをしているわ。

背景には、JAから信用・共済・購買などを分離させてシェア拡大をねらう「グローバル企業」と、「在日米国商工会議所」のそれぞれの思惑があるのよ。



先生



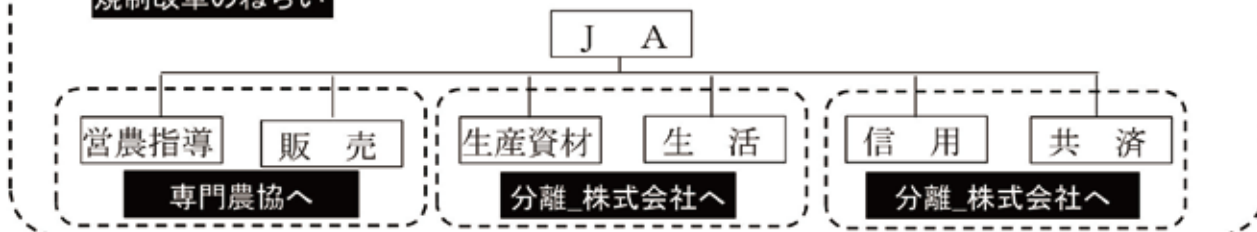
農林中金と全農が株式会社になったら、
買収して日本の市場に参入しよう！

JA解体への第一歩として、JAの信用事業は
農林中金に任せるべきだ！



グローバル企業

規制改革のねらい



生徒

ねらいはJAを解体して銀行や大企業、外国企業の参入を促すことにあったんだね。農業の成長産業化と言うけど、利用者の組合員や地域の人たちが置き去りになっていて、誰のための改革なんだろうね。



生徒

11日の提言内容は、全農の生産資材事業に関する提言が多かったけど、「信用事業を営むJAの半減」、「組合員勘定（クミカン）廃止」とか唐突だったよね。

平成26年6月に政府が決めた「規制制度改革実施計画」でも、信用事業の譲渡は、JAの意志で決めてって言うていたし、クミカンは金融商品の1つに過ぎないのにな。



生産者

クミカンは道内105JAで農家戸数の約70%、3万人以上の利用者がいるんだ。

1年間の農業収入と支出、生活費を見込んだ営農計画を立てて、必要なお金を借りながら収穫後に農業収入で返済していく仕組みだよ。

組合員とJAが営農計画を一緒に作成することで、JAも様々な事業等を通じて支援してくれるんだよ。

記帳や経営分析もできるし、税務申告にも役立つから銀行の当座預金を使うよりも便利なんだ。規制改革推進会議は、どうしてクミカンを廃止しようとしたんだろうね。

結果的には一部の声を反映した一方的な改革の押し付けだったし、JAグループ北海道として、組織を挙げて強力な要請活動を行って「信用事業を営むJAの半減」、「クミカン廃止」は最終的に削除されたから、これからはクミカンを使えるよ。

そもそも改革は自ら行うものだし、批判されたクミカンについても使い方次第なんだよね。現場の意見を取り入れてより良い仕組みに見直して行くのが大事だよ。



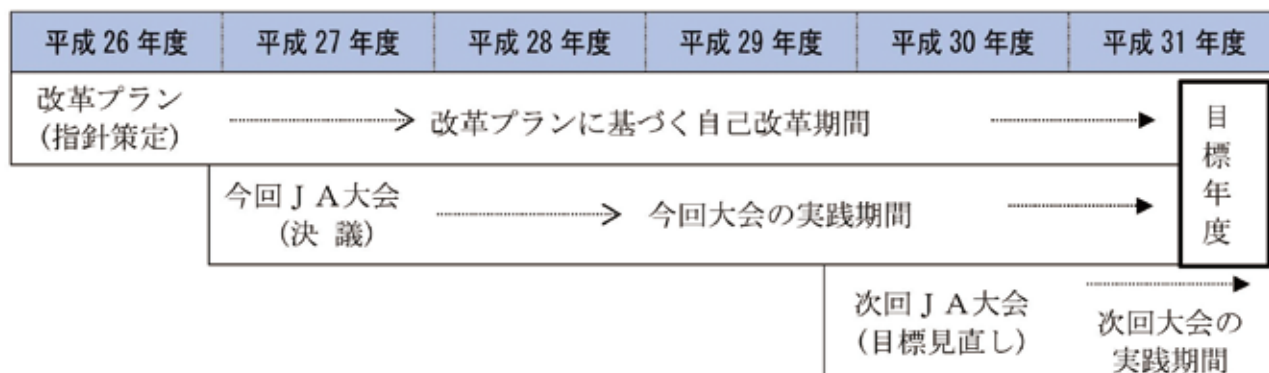
先生

私たちJAグループ北海道は、平成26年に策定した「改革プラン」に基づいて、北海道農業が持続可能な産業となること、豊かな魅力ある農村を目指して5年間の自己改革に取り組んでいます。

また、自己改革の実践を加速するため、平成27年11月に開催した「JA北海道大会」で『農業所得20%増大』、『新規担い手の倍増』、『食と農でつながるサポーター550万人づくり』などを決議しました。

自己改革の実践について自信を持って主張するためにも、組合員・JA・連合会・中央会が一体となって着実に実践して参りましょう。

【改革プランに基づく自己改革期間とJA北海道大会の期間対応】



平成28年12月19日 JA北海道中央会作成

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



平成29年1月、北海学園大学経済学部と北海道大学農学部において、学生向け授業の一環として「北海道農業の概要と、それを支えるJAグループの役割」について講義を行いました。

「北海道農業が日本の食を支えていることを知り、道民として誇りを持った」

「JAグループが農畜産物の安定供給だけでなく、インフラ提供等様々な役割を果たしている」と知ることができた」等の感想をいただき、北海道農業・JAへの理解を深めてもらうことができました。

今後も「サポーター550万人づくり」に向けた情報発信を進めて参ります。



JA北海道信連



JAバンク北海道では、地域貢献活動の一環として、AEDの寄贈を平成21年度より実施しており、今年度は、JR各駅に7台、大空町社会福祉協議会に1台の計8台を寄贈しました。

累計寄贈数は、今年度分を含めて、43先65台となり、救命活動や救命講習等に活用されています。

写真・JR滝川駅

JAたきかわより贈呈→



ホクレン



ホクレンパールライス



部では「ゆめぴりかごはん」と「北海道こめ油」に次ぐ米関連商品として、日本食品製造合資会社（札幌市）と共同開発により、1月から「ゆめぴりかの乾燥玄米入りグラノーラ（230g入り）」の発売を開始しました。朝食の新しいメニューとして牛乳や豆乳をかけて食べるのがお勧め。

道内Aコープやホクレンショップ等パールライス取扱店で販売しています。（取り扱いのない店舗もあります）

JA共済連北海道

「第68回さっぽろ雪まつり」において、平成28年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品64点を展示しました。

260万人を超える来場者数となった「さっぽろ雪まつり」で、JA共済連北海道の活動と交通安全への思いを知っていただくことができました。

今後も道内のみならず、全国や海外からの観光客の方々にも交通安全の大切さを伝え、事故防止に繋がっていきます。



JA北海道厚生連



【旭川厚生病院で「土曜ドック」を！】旭川厚生病院では、男性の方を対象として、隔週土曜日に人間ドックを実施しています。午前中に全ての検査が終了し、検査結果は受診日から1週間ほどお届けします。前立腺がんや肺ドックなどのオプション検査も可能です。

随時予約を受け付けておりますのでお電話でお問い合わせください。

※完全予約制

TEL0166-33-7171 (内)2146・2198

平成29年の米づくりに向けて

近年の気象変動は大きく、天候不順は米の品質や農作業に大きく影響しています。このことから、初期生育を良好にし出穂前の生育を良好に促すとともに、適性籾数を確保した登熟の良い米作りが必要です。

栽培の基本事項をご紹介しますので、本年の米作りにご活用下さい。

◎水田を乾かす ～溝切りは効果大～

地温を高め土壌窒素を早期に発現させることは、稲の養分蓄積を高め、生育を促すことにつながります。溝切りの施工などで停滞水を排除し早く乾くように努めましょう。また、融雪の遅れやすい場所は、融雪材の散布や心土破碎を組み合わせることが効果的です。

◎穂揃いを良くする

ポイント① 早期異常出穂の防止

早期異常出穂は、通常の葉数を確保しないうちに幼穂ができ、早期に主茎のみが出穂し、分げつの発生が減少する現象で早生品種などの感温性の高い品種に見られます。育苗後半（2.5葉以降）の高温管理（25℃以上）で発生しやすくなります。

また、成苗ポット苗はマット苗よりも高温になりやすいので、育苗後期の温度管理は特に注意するとともに、育苗日数は30～35日程度とし作業計画を立てましょう。

ポイント② 適期移植

～目標は5月25日までに植える～

品質・食味・収量を確保するためには、安全出穂期間内に収穫させることが基本です。移植から出穂までに簡易有効積算温度1000℃以上必要なので、5月25日まで移植を終わらせることが重要です。

水稻育苗の要点（中苗マット）

区分	播種～出芽揃	出芽揃～1.5葉	1.5～3.0葉	3.0葉～移植
適温	32℃	20～25℃	20℃ 夜温を下げすぎないように注意	18～20℃ 外気温に慣らす。夜間は10℃以下にしない
水分	種籾が乾かないよう十分灌水する	床土表面が乾くまで節水 葉がまかないよう注意 ・好天時の午前中に灌水を行う。午後からの灌水はしない ・早朝、葉先に水滴の付着が少なくなったときに灌水する		

管理上のポイント

保温に努め、出芽をそろえましょう。

根の伸長を促すため、過灌水に注意しましょう。
中苗では追肥は1.5葉期行い、「タチガレエース液剤」をかん注することで発根量が増大します。

2.5葉期以降の高温管理は早期異常出穂が出やすいので注意しましょう。
中苗では2.5葉期に追肥することで苗質の向上が期待できます。

35日の育苗期間を越える場合は、老化を防ぐため3回目の追肥を行います。追肥時期は移植の3～5日前を目安にしてください。

ポイント③ 栽培密度の確保（80株／3.3㎡以上）

栽培密度を高めること（株間と株間の距離は12.5cm以下）は、生育の揃った茎数を早期に確保し、遅れ穂（幼穂形成期以降の分げつ）が少なく、穂揃いは良くなります。そのため、登熟は良好で品質・食味・収量は高まります。

ポイント④ 側条施肥の導入

栽培密度を高めるだけでは不十分な場合、側条施肥と組み合わせ、初期生育を促進させることが必要です。側条施肥は、移植された苗の横3cm深さ5cmの位置に施肥するので、速効的で肥料の吸収効率が高く、初期茎数の発生促進効果も高まります。特に、側条による肥料は6月中旬に吸収されるので、7月以降の遅れ穂の発生が少なく、穂揃い性が向上します。また、側条施肥は施肥効率がよく、全層施肥に比べて10～20%減肥が可能です。

◎無理のない施肥で中位な稲づくり

～多肥は過剰籾となり死米など多くなる～

多肥栽培や安易な追肥は、過剰な籾数となりやすいため、全ての籾にデンプンが十分分配されないうちに気温が下がり、登熟が進まず死米や未熟粒になりやすくなります。無理のない窒素施肥量と適正な籾数確保（32,000～34,000粒／㎡程度）で品質を高めることが大切です。

◎深水管理の実施

～不稔防止と過剰分げつ抑制で適正な籾数を～

幼穂形成期から約20日間は稲一生の中で最も寒さに弱く、不稔発生と密接な関係があります。深水の保温力で寒さから幼穂を守り稔実性を高めることが重要です。また、前歴期間の深水は、幼形期以降に発生する過剰分げつを抑制し、有効茎歩合を高める効果も同時に認められ、過剰分げつの場合には、水稻の生育コントロールにも結びつきます。深水管理の実施には、20cm程度の深水管理ができる高畦が必要です。畔塗り機を活用し畦の補修を行うなど万全の準備を図ってください。

生産資材課より 国営緊急農地再編整備事業にかかる土壌診断助成について

日頃より生産資材事業をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

生産資材課では、基盤整備施工圃場の土壌診断について促進をはかるため助成を行っております。基盤整備後は土壌の環境が大きく変化していますので、この機会に土壌診断を行いましょう！

【土壌診断助成対象】国営緊急農地再編整備事業施工圃場

【土壌診断依頼先】ホクレン

【生産者負担額】1,000円/1点

※土壌診断料は2,000円ですが、JAより『1,000円/1点』を助成させていただきます。
(いずれも税抜き額での表記です)



【その他】

- ・土壌診断結果については、約2ヶ月の時間を要しますのでご了承下さい。
- ・1～2次早取り肥料については、申込次・成分数量にて早取り対応で交換致します。

【お申込・お問い合わせ】 生産資材課まで 電話82-1768

管理課より 労災保険(労働災害補償保険)に加入しましょう！！

皆様、労災保険に加入されているでしょうか？春耕期も目前となりましたが、万が一の備えとして経営者の方・従事されるご家族皆様方のご加入を是非ご検討下さい。

農作業事故を未然に防ぐ事が最善策ではありますが、残念ながら北海道では平成17年から26年の平均で、年間2,221件の負傷事故が発生しており、死亡は年間20件発生している状況にあります。また、農作業は全産業の4倍以上の死亡事故発生率となっており、今まで最も危険な産業だった建設業の死亡事故発生率を越えて、農作業がワースト1位となっています。

加入条件・申込方法など詳細については、既に正組合員の皆様へハガキで個別にご案内しております。**本年の締切りは3月18日となっております**ので、加入を希望される方は期日厳守のうえ管理課までお申込み下さい。(電話82-0211)

補償の内容について

療養補償給付
療養給付

●農作業事故によるケガや病気を病院等で治療する場合
必要な治療が無料で受けられます。

休業補償給付
休業給付

●農作業事故によるケガや病気の療養のため労働することができない日が4日以上となった場合
休業4日目以降、休業1日につき給付基礎日額(日給相当額のイメージ)の60%の休業補償と、20%の特別支給金の合計80%相当額が支給されます。

障害補償給付
障害給付

●農作業事故によるケガが治った後に障害等級第1級～第7級又は、第8級～第14級までに該当する障害が残った場合
障害の程度に応じた年金または一時金が支給されます。

遺族補償給付
遺族給付

●農作業事故により死亡した場合
遺族人数に応じた遺族年金または遺族一時金が支給されます。

葬儀料
葬儀給付

●農作業事故により死亡した方の葬儀を行う場合
給付基礎日額に応じた額が支給されます。

傷病補償年金
傷病年金

●農作業事故によるケガや病気が療養開始後1年半を経過した日に、ケガや病気が治っておらず、障害の程度が傷病等級に該当する場合
障害の程度に応じた額が支給されます。

よくある質問(Q & A)

質問

労災保険に加入すると、どのようなメリットがあるのですか。

答え

年収に応じた保険料で、万が一の農作業事故に備えた様々な補償が受けられます。例えば、農作業事故に遭い、1ヶ月休業しなければならなくなった場合、
・療養補償により必要な治療が無料で受けられます。
・給付基礎日額が1万円の場合、休業補償と特別支給金で1ヶ月につき216,000円給付されますので、この資金を活用してヘルパーなどを雇用できます(この場合の年間保険料は32,850円(1ヶ月当たり2,738円)です。)

質問

農業者なら誰でも労災保険に加入できるのですか。

答え

専業農家はもちろん、兼業農家であっても、一定の農作業に従事する農業者本人は特別加入制度を利用して労災保険に加入することができます。

質問

労災保険の特別加入は、どこに申請をすればいいのですか。

答え

加入窓口である「特別加入団体」または「労働保険事務組合」に加入申込をする必要があります。JAなどが特別加入団体になっている場合がありますので、お近くのJAや都道府県労働局にお問い合わせいただき、加入窓口の確認をしてください。



ところで...
みなさんが雇っているパートやアルバイト等の方々も労災保険に加入できます。
・常時5人以上雇っている場合または法人の場合は強制加入です。
・常時5人未満の場合は任意加入ですが、農業者本人が特別加入している場合やアルバイトやパート等の方の過半数が希望する場合は強制加入になります。

※農林水産省、厚生労働省資料より